

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成26年7月3日(2014.7.3)

【公表番号】特表2013-531619(P2013-531619A)

【公表日】平成25年8月8日(2013.8.8)

【年通号数】公開・登録公報2013-042

【出願番号】特願2013-509204(P2013-509204)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/56 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 31/7105 (2006.01)

A 6 1 K 31/713 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 33/48 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

C 0 7 K 16/18 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00 Z N A

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 31/56

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 K 31/7105

A 6 1 K 31/713

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

G 0 1 N 33/53 D

G 0 1 N 33/53 M

G 0 1 N 33/48 P

A 6 1 P 1/16

C 0 7 K 16/18

【手続補正書】

【提出日】平成26年5月8日(2014.5.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

線維症を発症するリスクのある、または線維症を有する対象を処置するための医薬組成物であって、カドヘリン 1 1 アンタゴニストを、線維症に関連する症状の発現を予防するもしくは遅延させる、または線維症を低減するのに有効な量で含む、前記医薬組成物。

【請求項 2】

線維症が皮膚線維症である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

対象が、強皮症を有する、請求項 1 または 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

線維症が、(a) 非皮膚の線維症、(b) 肺線維症、(c) 肝線維症、(d) 特発性肺線維症または (e) 重篤な特発性肺線維症である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

カドヘリン 1 1 アンタゴニストが、カドヘリン 1 1 結合ペプチドである、請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

カドヘリン 1 1 結合ペプチドが、(a) 抗カドヘリン 1 1 抗体もしくは抗原結合性抗体断片である、(b) カドヘリン 1 1 融合タンパク質である、または (c) 全長カドヘリンもしくはその断片を含む、請求項 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

カドヘリン 1 1 アンタゴニストが、(a) カドヘリン 1 1 核酸アンタゴニスト、(b) カドヘリン 1 1 siRNA、(c) カドヘリン 1 1 リボザイム、(d) カドヘリン 1 1 アンチセンス分子、(e) 全長カドヘリンもしくはその断片をコードする核酸、または (f) 小分子である、請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

医薬組成物が、(a) 吸入によりもしくは鼻腔内に、または (b) 腹腔内に投与されるものである、請求項 1 ～ 7 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

免疫抑制剤をさらに含み、ここで任意に免疫抑制剤がステロイドである、請求項 1 ～ 8 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

対象から収集した試料中のカドヘリン 1 1 レベルを測定すること、および試料中のカドヘリン 1 1 レベルを、正常対照と比較すること、を含む、線維症を検査する方法であって、ここで、正常対照におけるカドヘリン 1 1 レベルよりも高い、対象から収集した試料中のカドヘリン 1 1 レベルが、線維症または線維症発症のリスクを示す、前記方法。

【請求項 11】

カドヘリン 1 1 レベルが、カドヘリン 1 1 の (a) タンパク質レベルまたは (b) mRNA レベルである、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

正常対照が、(a) 対象からの正常な組織もしくは細胞の試料、または (b) 対象の集団からの正常な組織もしくは細胞である、請求項 10 または 11 に記載の方法。

【請求項 13】

試料が、(a) 皮膚もしくは真皮試料、(b) 肺の試料、(c) 気管支肺胞洗浄 (BAL) 試料、または (d) 肝臓試料である、請求項 10 ～ 12 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 14】

カドヘリン 1 1 レベルを、免疫組織化学を用いて測定する、請求項 10 ～ 13 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 15】

正常対照よりも高い、対象から収集した試料中のカドヘリン 1 1 レベルが、(a) 対象が線維症を有することを示す、または (b) 対象に線維症発症のリスクがあることを示す、請求項 1 0 ～ 1 4 のいずれか一項に記載の方法。